

立命館宇治中学校・高等学校

中学入試 高校入試

住所 〒611-0031 京都府宇治市広野町八軒屋谷33番1 電話 0774-41-3000 FAX 0774-41-3555
 URL <http://www.ujc.ritsumeikan.ac.jp/ujc/> facebook (@ritsumeikan.uji.admissions)
 帰国生受け入れ開始年度 1996年
 2019年度帰国生在籍数 中学1年:37人 中学2年:33人 中学3年:36人 高校1年:68人 高校2年:73人 高校3年:80人
 帰国生のための部署/担当 国際センター/入試センター長 木越貴之 先生・入試副センター長 玉野典明 先生

帰国生入試について										
出願資格・条件	【中学】:日本の義務教育期間における海外就学期間が1年以上のもの 【高校】:日本の義務教育期間における海外就学期間が1年6ヶ月以上のもの ※日本国内において、外国の学校教育制度(インターナショナルスクール等)で履修している場合は同等に扱う。 ※海外就学期間は、途中帰国していても全期間を加算する。									
出願書類	【中学】:入学願書・志願者身上書・成績証明書補足調書修学状況報告書(該当者のみ)・在学証明書・成績証明書過去3年分等 【高校】:入学願書・志願者身上書・成績証明書補足調書修学状況報告書(該当者のみ)・入学確約書(推薦・専願のみ)・推薦書(推薦区分のみ)・IMコース、IBコース志望理由書(IM・IBコースのみ)・在学証明書・成績証明書過去3年分・卒業または卒業見込み証明書・IBコース志願者レファレンスフォーム等									
過去3カ年の応募状況	【中学】	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数	【高校】	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
	2019年	78	77	55	37	2019年	110	106	66	43
	2018年	56	54	41	27	2018年	129	124	78	46
	2017年	73	71	48	32	2017年	139	136	72	40
帰国生の編入試験について										
出願資格・条件	帰国生の出願資格に加えて、(1)本校の2019年度の入試を以前に受験していないこと。(2)出願する編入試験の直前の編入試験日より前に国内の中学校に在籍していないこと。									
出願書類	本試験と同様									
実施時期	→11月入試 中1 9月編入 中2 4月編入 中3 4月編入 高1 1月IB編入 3月IG編入 →1月入試 中2 4月編入 中3 4月編入 →2月入試 高1 3月IGコース編入 →6月入試 中1 9月編入 中2 9月編入 中3 9月編入(ただし、中学3年生はIB方式のみ) 高1 9月IB・IG編入 高2 9月IG編入									
クラス配置・一般生との位置づけ										
・国際センターがあり、帰国生対応のスペシャリストである教員が、帰国後の生活や学校への適応をサポートします。 ・保健室にスクールカウンセラーがおり、相談に応じます。保護者も相談可能です。 ・ホームルームは帰国生と一般生のミックスホームルームです。中学ではIPSプログラムに属する生徒は同じホームルームになるため、帰国生の割合が高いクラスがあります。高校ではコースにより帰国生の割合が異なり、IBコースでは約8割が帰国生です。帰国生保護者会があります。また必要に応じて国際センターが面談も行います。										
外国語・日本語の指導、取り出しや補習など										
現地校やインター校の出身者を対象に、中学では、帰国後1年間国語・数学・社会・理科の放課後補習授業を実施。高校ではIGコース1年生時に国語・数学・社会の習熟度別授業でキャッチアップを行います。英語は中高ともグレード別で実施しており、英語力の維持・伸長ができます。										
入試に向けての事前準備や意識しておいてほしいこと										
受験制度も就学経歴を踏まえて、整備されています。現地校やインターナショナルスクールに通いながら、教科型の試験を受ける場合は加点措置がありますし、現地校やインターナショナル校での経歴が短いために、十分な成績結果を得られていなくても、その間の上昇を評価するようにしています。現地での学習に親しみ、もし英語での学習ならば英語力の向上を検定・TOEFLなどで結果として残しておいてください。IPS方式、IB方式の受験では英語力に応じて得点が与えられます。										
帰国生の卒業後の進路・進学状況について										
【中学】:立命館宇治高校へほとんどが進学する 【高校】:立命館大学への内部進学(約80%)、立命館アジア太平洋大学への進学(7%)、他大学(約13%) →海外大学合格実績 National University of Singapore(SGP)、University of Melbourne(AUS)、Nanyang Technological University(SGP)、Brown University(USA)、The University of Manchester(UK)、University of Sydney(AUS)、University of Queensland(AUS)、University of Minnesota(USA)、Monash University(AUS)、Michigan State University(USA)、Dartmouth College(USA)										
留学制度や海外大学進学支援体制について										
海外派遣、留学生受入、国際交流プログラムを通して、英語力やコミュニケーション能力などの力をさらに大きく伸ばせます。 ・中3で8月に2週間オーストラリアで1人1家庭のホームステイや語学研修を行う。 ・GCP(グローバルチャレンジプログラム):世界各国の国際会議などに生徒を派遣 ・Real Exchange Program:NZ,オーストラリアの提携校などで2-3ヶ月学ぶ高校生対象交換留学プログラム ・Ritsumeikan Intensive English Program:UBC,DCへの留学プログラム。高3対象。等										
帰国生や海外在住生徒保護者へのメッセージ										
お父さんお母さんの方が、現地の生活に慣れるのが大変かもしれません。大変だと思っている時に、逆に家族の絆は強まっているものです。お子さんとの距離感を保つことが大切ですが、絆の深まりは、確実にお子さんの自立を支える力になります。										